

教育目標:元気な学校 明るい学校 たのしい学校  
鳥川の合言葉:ありがとう やさしさいっぱい 心も笑顔

福島市立鳥川小学校  
学校だより第15号  
令和5年11月21日  
校長 穂山俊之



# 鳥川小だより

## 元気いっぱい 笑顔いっぱい 楽しい時間 異年齢交流 鳥川ラウンド

本校では、異学年で活動する場を通して、上級生には下級生を思いやる気持ちを、下級生には上級生のよいところを学ばせたいと考えています。

その一つが、1年生から6年生までの異学年で編成されたグループで、1年間様々な活動に取り組んでいく「縦割り班活動」です。現在、全部で24班があります。日常的には、「縦割り班清掃」があり、上級生がリーダーシップをとり、低学年の児童に優しく掃除の仕方を教えながら、清掃活動に取り組んでいます。

11月9日(木)の3・4校時は、全校でその班ごとに集まって遊ぶ、「鳥川ラウンド」を実施しました。



「鳥川ラウンド」とは、代表委員会の児童が中心となって準備した、ストラックアウトやボーリング、スリッパ飛ばし、箱の中身当てクイズ、お絵かきしりとりなどのコーナーを縦割り班で巡りながら遊ぶというものです。

校舎内には、子どもたちの楽しんでいる声が響いていました。また、先生方も一緒にゲームに加わり大盛り上がり！ 元気いっぱい、笑顔いっぱい、楽しい時間となりました。

## 仙台フィルハーモニー管弦楽団によるワークショップ

11月6日(月)の午後、仙台フィルハーモニー管弦楽団から、チェロ、クラリネット、ピアノの各奏者の方と、テノール歌手の方、合計4名が来てくださり、ワークショップが行われました。

今回のワークショップは、1学期の6月23日に実施された本公演を経て、楽器やオーケストラの演奏をより身近に感じてもらおうと実施されるもので、楽器の紹介や質疑応答、ミニコンサートが行われました。

「楽器紹介」では、各楽器の特徴を演奏しながら教えていただきました。

また「質疑応答」では、「一番大きな音がする楽器は何ですか?」「一番きれいな音が出る楽器は何ですか?」といった、答えるのが難しい子どもたちの質問にも、丁寧に答えてくださいました。

そして最後は、4人での「ミニコンサート」。素敵な音色が、体育館中に響きわたりました。やっぱり本物、目の前で生演奏は素晴らしいですね。子どもたちの心にも、素敵な音楽が響いたことでしょう。仙台フィルの皆様、どうもありがとうございました。



## 学校評議員会 「こんな子どもに育てほしい。」



11月15日(水)の午後、第2回学校評議員会を開催しました。  
学校評議員6名の皆様においでいただき、前半は授業参観、そして後半は、委員の方々と先生方が一堂に集まって、「鳥川小学校の目指す子ども像」をテーマとしたグループ協議を行いました。  
「挨拶のできる子どもに育てたい。」  
「相手にやさしくできる人になってほしい。思いやりが大事。」  
「何より、健康が一番。心も体もたくましい子に育てほしい。」  
「少々のことではへこたれない」・・・などなど

131年の歴史と伝統が息づく鳥川小学校。委員の方々から、子どもたちへ託したい思いや願いがいっぱい述べられました。

よりよい学校経営をしていくうえで、学校・保護者・地域の皆様が共

通の認識や課題(ビジョン)を持つことが大切といわれます。

いただいた意見を最大限に活かしながら、学校経営ビジョンをつくりあげたいと考えております。

皆さんの前向きさと、子どもたちへ託す思いの強さが心地よく、次年度の教育課程づくりが楽しみになりました。

学校評議員の皆様、ありがとうございました！

そして、これからも、どうぞよろしく申し上げます。



## 第33回鳥川地区秋季少年少女球技大会(鳥川杯)

11月11日(土)の午前中、鳥川地区青少年健全推進委員会主催の、第33回鳥川地区秋季少年少女球技大会(鳥川杯)が、本校の体育館で開催されました。

昨年まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために開催を見合わせておりましたが、今年、4年ぶりの開催となりました。

球技種目は、テーパーボール。事前に参加者を募り、当日集まった子どもたちでチームを編成して実施しました。

異年齢で編成したチームで対抗戦をしたり、お父さんチーム・お母さんチームと対戦したり・・・。

屋外は、北風が強く吹くあいにくの天候でしたが、体育館では、その寒さを吹き飛ばす勢いの子ども達の熱いプレーとお父さん・お母さん達の笑顔がたくさん見られました。

お忙しいところ、運営にご協力いただいた、PTA健全育成委員会の皆様、ありがとうございました。

